

深日地区福祉委員会通信

創刊号 2019年(令和元年)12月1日発行 深日地区福祉委員会(連絡先 ☎492-2098 中村)

深日地区のみなさん、こんにちは。深日地区福祉委員会の活動をご紹介します。当委員会は、「ふれあい喫茶」や「見守り隊キッズ Eye ぼらんていあ」など、地域の誰もが安心して楽しく暮らせる「まちづくり」をめざして活動しています。これからも地区福祉委員会の活動にご理解とご協力のほどをよろしくお願いいたします。

ふれあい喫茶

毎月第3水曜日 午前10時~12時

深日小生が、深日会館にやってきました!



6月19日(水) 6年生

歴史の発表です。さすが、6年生、冠位十二階や平城京など学習したことを上手に発表してくれました。

その後、各テーブルに座り、地域の人たちと交流しました。



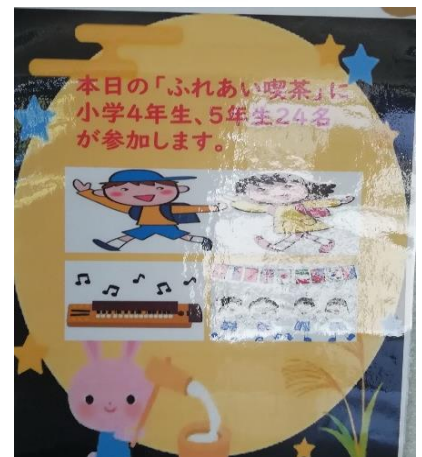
9月18日(水) 4年生、5年生

5年生は、大正琴の演奏です。「上達がはやいな」とある老人が驚いていました。4年生は、運動会の歌を元気に楽しく歌ってくれ、会場は大いに盛り上がりました。

11月20日(水) 1、2、3年生が参加予定

深日地区福祉委員会とは?

深日地区の福祉の推進を図ることを目的とし、区長会、民生委員児童委員協議会、長生会などの団体と個人のボランティアで組織された団体です。当委員会の活動に興味のある方は、深日地区福祉委員会(☎492-2098 中村)か、社会福祉協議会(☎492-0633)にご連絡ください。



会場に貼られた、ふれあい喫茶のポスターです。

12月のふれあい喫茶はお休みです

「思いやりの心」 見守り隊キッズ Eye ぼらんていあ



深日小生が付添人と共に、ひとり暮らしの老人宅を訪ねます。小学校であったことを話すと、老人たちは笑顔で自身の昔話をしてくれます。このような生のコミュニケーションを通じて、子供たちは人を思いやる気持ちを育んでいきます。一方、老人たちにとっては子供たちから若葉のようなエネルギーをもらっているようです。（今年度の活動期間は6月～3月）

衣料切符とは 平和教育体験学習 於 深日小学校

8月6日、深日小学校5年生が、深日在住の中出さんから戦争中の生活について聞く体験学習がありました。地区福祉委員も参加しました。

戦争中は、「ほしがりません、勝つまでは」のスローガンが叫ばれ、学校の中でも、冬の寒い時期なのに靴下をはいていただけで立たされる子がいたそうです。当時、役場を通じ「衣料切符」が配給され、それがないと衣料品は手に入りませんでした。嫁入りの準備で、闇で「衣料切符」を買わなければならなかった人もいたそうです。

5年生にとっては初めて聞く話がほとんどで、熱心にメモをとっていました。



「気持ち」が分かる

車いす体験

10月11日、5年生6人が先生及び地区福祉委員に見守られながら、車いすに乗って買い物などの体験をしました。途中、段差や坂に一苦労。

車いすに乗り「こわい」と思う体験をしたことで、車いすの押し方が丁寧になったようです。



80代がすごい！グランドゴルフ

11月12日、灰吹池グランドで、グランドゴルフ大会が開催されました。60代から80代の40名が参加。秋晴れの中、熱戦が繰り広げられました。80代パワーが炸裂！優勝したのは82歳、2位88歳、3位67歳、4位82歳、5位89歳と、80代の健闘が目立ちました。

（今後の予定）

- 1月15日（水） ふれあい喫茶で二人組による生バンドの演奏&歌。「青春時代」「神田川」等
- 1月28日（火） 北淡町震災記念公園に視察研修
- 2月19日（水） ふれあい喫茶に大正琴「和（なごみ）」の方々が出演、演奏してくれます。

（お知らせ）

深日で文化活動（楽器演奏、歌謡、舞踊など）をしている団体や個人のみなさん、ふれあい喫茶に出演し、練習の成果を発表しませんか。ご希望の方は、当委員会にご連絡ください。

◆社協会員会費や赤い羽根共同募金等は、当委員会の活動に活用されています。